校長室雑記

笑ってごらん

第516号　H.27.6.9発行

～今日のことば～
「これであきらめるなら、お前の思いはその程度なんだよ」と神様に試されているような気がする。
（桑田真澄）

◇◆先日、「ハッピバースデーツーユー♪　ハッピバースデーめんツユー♩　○○○のめんつゆ～」っていうＣＭを久しぶりに観た(私が小さい頃からやってるが、このＣＭはたぶん鹿児島ローカルだろう･･･)。「まだやってたんだ･･･」何だか懐かしい思いだった。聡明な諸君なら、もう推察できるであろう。そう、梅雨の話である。これから１ヶ月あまりは太陽が恋しくなる日が続く。ただ、農作物にとっては恵みの雨であろうし、後に続く日照りの時期を考えれば、まとまった雨が降っておいてくれないと水不足に陥ってしまうので、雨が降るのは仕方がない。かと言って「極端な豪雨は勘弁して欲しい」と人間は自分に都合の良い勝手なことばかり考える。ま、いずれにせよ、暫く続く雨の季節を楽しく過ごすことを考えた方が良さそうである。　◆この時期の天気予報ではよく「梅雨前線の停滞」などという言葉を聞く。辞書によれば、梅雨前線とは「梅雨期に、オホーツク海高気圧および大陸高気圧と小笠原高気圧との間の気圧の谷に沿って生ずる不連続線」とある。ずいぶん小難しく表現されているが、南からの温かく湿った空気が北からの冷たい空気にぶつかって雨を降らせるものであり、その２つの高気圧の勢力が同等ゆえ当分の間は降雨エリアが動かないということのようだ。小笠原高気圧の勢力が増し、梅雨前線を押し上げると夏の到来である。　◆時に何故「梅雨」というのか調べてみた。この時期は物にカビが生じやすい時期であることから「黴雨」と言っていた。「黴(カビ)の雨」とは何となくイメージが悪いので、梅の実が熟する時期であることから「梅雨」が使われることが多くなったようである。ここでもう一つの疑問。何故「梅雨」と書いて「つゆ」と読むのか？　それはこの時期は長雨によって食べ物が傷んだり腐ったりして潰(つい)えてしまうことが多いので、「ついえる→ついゆ→つゆ」となったらしい。しかし、これも「熟した梅の実に露がいっぱいついているから」と考えた方が風情があっていいと思うが、どうであろうか。　◆先日小腹が空いた時のこと。「数日前にいただいた○山観光ホテルのフラワーパンがあったな～」と思い出し、袋から取り出してパクッと咥えた時、青カビくんに気が付いて慌てて吐き出した。早く食べておけば良かった、もったいない･･･。でも、飲み込む前に気付いて良かった。この時期はホントに食べ物が傷みやすいので、食べ残しの保管には十分気をつけよう。加えて、感染症の蔓延も心配なところである。くれぐれもペットボトル飲料の廻し飲みなどをしないこと。その上で、手洗い・うがい等の基本的な衛生面の管理を怠らないように。「自分は大丈夫」とは言えないよ！

～・～・～・